

すし・日本料理店などを運営する美喜仁（桐生市本町、坂入勝社長）は、1830年創業の日本料理の老舗「なだ万」（東京都新宿区）と事業協力し、弁当や食料品などの販売を始める。

なだ万監修の弁当を7月から2種類販売する予定。その後も季節ごとに2種類ずつの弁当、正月にはおせち料理も販売していくという。西京焼き

## 美喜仁、なだ万とコラボ 監修受け弁当発売

やハンバーグなど、なだ万の食材を取り入れた美喜仁オリジナル弁当も7月中旬ごろから順次販売する。他に、なだ万の食料品を持ち帰り専門店「活 美喜仁」で取り扱うなどする。

事業協力は美喜仁が提案した。同社の経営理念や、日本食品衛生協会の「HACCP（ハサツプ）型五つ星」を県内でいち早く取得したこと

などがなだ万側に評価され、連携につながった。坂入社長は「事業協力は第一歩で、より関係を深めていきたい」と話した。

今後、1990年代のテレビ番組「料理の鉄人」に出演していた料理人に非常勤総料理長として経営参画してもらおうなど、新しい取り組みも進めていくという。